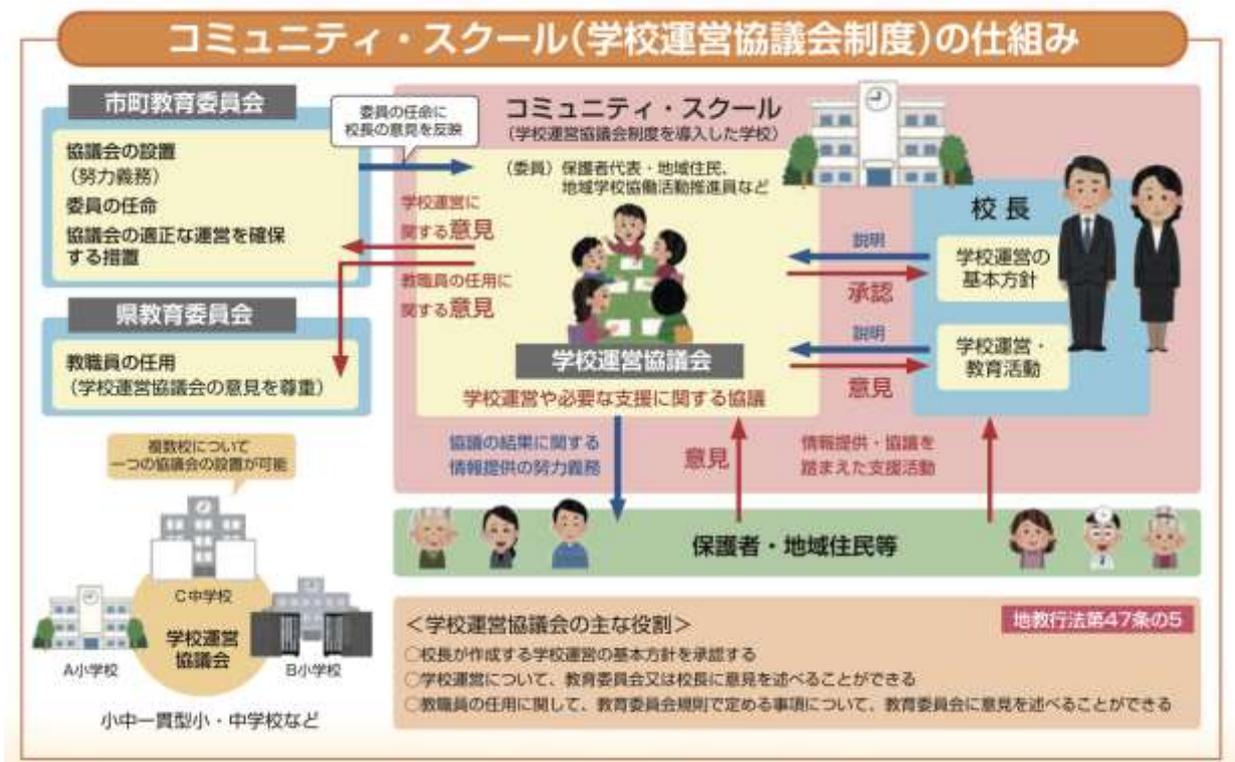


貴生川小学校コミュニティ・スクール ～ はじめよう やってみよう ～

本校は4月1日より、甲賀市初のコミュニティ・スクール（CS）となりました。

コミュニティ・スクールは学校運営協議会を設置し、子どもや地域のことを話し合い、目標を共有しながら連携・協働の取り組みを進めていく仕組みです。

学校運営協議会には下の図のような役割があります。これまでどおり、地域の温かいサポートや、PTAをはじめとした子どもの育ちを支える組織を基盤として、体制づくりを進めていきます。そして、学校と地域がパートナーとして力を合わせ、子どもを育む「地域とともにある学校」を目指します。



Q これまでと何が変わるの？

A 子どもたちの学校生活が大きく変わることはありません。子どもを支える大人の存在が増え、地域と子どもが「顔が見える」関係となります。また、地域の方が授業に参画する機会が増えるため、新しい学習指導要領で目指す「社会に開かれた教育課程」の実現にもつながります。

Q どんな人が「学校運営協議会」に参画するの？

A 自治振興会等街づくり関連の組織で活躍されている方、元保護者、元学校関係者など、10名の方に委員をお願いしています。さっそく委員の皆さんが「コミュニティ・スクールだより」を作成されました。その第1号に自己紹介がありますのでぜひご覧ください。

Q どのようなことをするの？

A 今年度は、次の3つを大切にスタートします！

◆合言葉は「はじめよう やってみよう」

次代を担う貴生川小の子どもたちに、自主性や積極性を大切にしたい、挑戦する子ども、やり抜く子どもをみんなで応援したい、そんな願いをわかりやすく合言葉にしました。関わる全ての大人の合言葉にもしたいと考えています。

◆「コミュニティ・ルーム (C R)」へお越しく下さい

学校内1階保健室横に「コミュニティ・ルーム」を作りました。学校運営協議会委員や、学校支援ボランティア、地域の皆さんの交流の場です。「子どもの様子を近くで見たい」「久しぶりに母校を訪れたい」など、気軽にお立ち寄りいただくのもOKです！

◆まずはできることから、共に汗を流すことからスタート

新しいことをする、イベントをする、そういうイメージではなく、これまでからの連携した取り組みを整理し、地域と学校が共に参画し、汗を流すことをやってみます。それを「スマイルプロジェクト」と呼び、「ぬくもり貴生川」「ふるさと貴生川」「つながり貴生川」の3本柱で整理します。

例えば、飯道山登山を地域と連携して実施したり、保護者への学校アンケートを地域の方にもお願いし、活用する方法を模索したりするなど。委員の方と知恵を出し合い、一緒に取り組みを進めていきます。